

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2003-60839(P2003-60839A)

【公開日】平成15年2月28日(2003.2.28)

【出願番号】特願2002-140115(P2002-140115)

【国際特許分類】

H 04 N	1/00	(2006.01)
H 04 N	1/32	(2006.01)
H 04 N	1/387	(2006.01)

【F I】

H 04 N	1/00	1 0 7 Z
H 04 N	1/00	E
H 04 N	1/32	Z
H 04 N	1/387	
H 04 N	1/387	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月20日(2006.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像を記憶する記憶手段と、

入力した元画像に所定の変換処理を施す変換手段と、

前記変換手段により得られた変換結果画像を所定の宛先へ送信する送信手段と、

前記元画像に関するジョブ情報に基づき、前記元画像に対応する変換結果画像が前記記憶手段に記憶されているか否か判定する判定手段と、

前記判定手段により前記元画像に対応する変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定した場合、前記元画像には前記変換処理を施さず、前記記憶手段に記憶されている前記対応する変換結果画像を送信するように前記変換手段及び前記送信手段を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像通信装置。

【請求項2】 前記送信手段による送信機能は、

前記変換結果画像を電子メールに添付して送信する機能と、

前記変換結果画像を所定のファイル転送プロトコルに従い送信する機能とを含むことを特徴とする請求項1に記載の画像通信装置。

【請求項3】 前記ジョブ情報は、前記変換処理のパラメータ、前記元画像の識別情報を含み、

前記パラメータは、符号化、解像度変換、回転処理のなかの少なくとも1つの変換処理に関するパラメータであることを特徴とする請求項1または2に記載の画像通信装置。

【請求項4】 画像を記憶する記憶手段と、

入力した元画像に所定の変換処理を施す変換手段と、

前記変換手段により得られた変換結果画像を所定の宛先へ送信する複数の送信手段と、

前記複数の送信手段を用いて複数の宛先に対し前記元画像を同報送信する場合、前記元画像に関するジョブ情報に基づき、前記記憶手段に格納された1つの相手先に対する変換結果画像を他の相手先へも送信するように前記変換手段及び各送信手段を制御する制御手

段と、

を有することを特徴とする画像通信装置。

【請求項 5】 入力した元画像に所定の変換処理を行う変換手段を有し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理装置であって、

画像を記憶する記憶手段と、

所定の依頼元から前記元画像の変換処理要求を受け付ける受付手段と、

受け付けた前記変換処理要求、及び前記変換処理要求に基づき前記元画像を変換した変換結果画像が、前記記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定手段と、

前記変換手段による前記元画像の変換結果を前記所定の依頼元に対して通知する通知手段と、

前記判定手段により、前記変換処理要求及び前記変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定された場合、前記変換手段は前記元画像に対する変換を行わず、前記通知手段は、前記所定の依頼元に対して前記元画像に対する変換を行ったことを通知することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 6】 前記元画像の変換処理要求の依頼を行い、前記元画像の入力及び前記変換結果画像の出力を制御する入出力制御手段をさらに有し、

前記判定手段により、前記変換処理要求及び前記変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定された場合、前記通知手段は、出力するための変換結果画像として、前記記憶手段に記憶された前記変換結果画像を通知し、前記入出力制御手段は、前記通知手段により通知された前記変換結果画像を出力するように制御することを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】 入力した元画像に所定の変換処理を行う変換手段を有し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理装置であって、

前記変換結果画像を記憶する第 1 の記憶手段と、

入力した元画像に対応する変換結果画像が前記第 1 の記憶手段に記憶されている場合、前記元画像に対する変換処理を行わず、前記対応する変換結果画像を出力する出力制御手段と、

前記第 1 の記憶手段に記憶された各変換結果画像が、前記出力制御手段による画像出力のために用いられた参照回数を記憶する第 2 の記憶手段と、

前記参照回数に基づき、前記第 1 の記憶手段における変換結果画像の書き込み及び削除を制御する記憶制御手段と、
を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 8】 入力した元画像に所定の変換処理を施す変換工程と、

前記変換工程において得られた変換結果画像を所定の宛先へ送信する送信工程と、

前記元画像に関するジョブ情報に基づき、前記元画像に対応する変換結果画像が記憶手段に記憶されているか否か判定する判定工程と、

前記判定工程において前記元画像に対応する変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定した場合、前記元画像には前記変換処理を施さず、前記記憶手段に記憶されている前記対応する変換結果画像を送信するように前記変換工程及び前記送信工程を制御する制御工程と、
を有することを特徴とする画像通信方法。

【請求項 9】 入力した元画像に所定の変換処理を施す変換工程と、

前記変換工程において得られた変換結果画像を所定の宛先へ送信する複数の送信工程と、

前記複数の送信工程を用いて複数の宛先に対し前記元画像を同報送信する場合、前記元画像に関するジョブ情報に基づき、記憶手段に格納された 1 つの相手先に対する変換結果画像を他の相手先へも送信するように前記変換工程及び各送信工程を制御する制御工程と、
を有することを特徴とする画像通信方法。

【請求項 10】 入力した元画像に所定の変換処理を施し、前記変換処理した変換結

果画像を出力する画像処理方法であって、

所定の依頼元から前記元画像の変換処理要求を受け付ける受付工程と、

受け付けた前記変換処理要求、及び前記変換処理要求に基づき前記元画像を変換した変換結果画像が、記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定工程と、

前記変換処理において前記元画像の変換結果を前記所定の依頼元に対して通知する通知工程と、

前記判定工程において、前記変換処理要求及び前記変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定された場合、前記変換処理は前記元画像に対する変換を行わず、前記通知工程は、前記所定の依頼元に対して前記元画像に対する変換を行ったことを通知することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 1 1】 入力した元画像に所定の変換処理を施し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理方法であって、

前記変換結果画像を記憶手段に記憶する第 1 の記憶工程と、

入力した元画像に対する変換結果画像が前記記憶手段に記憶されている場合、前記元画像に対する変換処理を行わず、前記対応する変換結果画像を出力する出力制御工程と、

前記記憶手段に記憶された各変換結果画像が、前記出力制御工程における画像出力のために用いられた参照回数を、前記記憶手段に記憶する第 2 の記憶工程と、

前記参照回数に基づき、前記第 1 の記憶工程における変換結果画像の書き込み及び削除を制御する記憶制御工程と、
を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 1 2】 画像通信方法を実行するためのプログラムであって、

入力した元画像に所定の変換処理を施す変換ステップと、

前記変換工程において得られた変換結果画像を所定の宛先へ送信する送信ステップと、

前記元画像に関するジョブ情報に基づき、前記元画像に対する変換結果画像が記憶手段に記憶されているか否か判定する判定ステップと、

前記判定ステップにおいて前記元画像に対応する変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定した場合、前記元画像には前記変換処理を施さず、前記記憶手段に記憶されている前記対応する変換結果画像を送信するように前記変換ステップ及び前記送信ステップを制御する制御ステップと、
を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 1 3】 画像通信方法を実行するためのプログラムであって、

入力した元画像に所定の変換処理を施す変換ステップと、

前記変換ステップにおいて得られた変換結果画像を所定の宛先へ送信する複数の送信ステップと、

前記複数の送信ステップを用いて複数の宛先に対し前記元画像を同報送信する場合、前記元画像に関するジョブ情報に基づき、記憶手段に格納された 1 つの相手先に対する変換結果画像を他の相手先へも送信するように前記変換ステップ及び各送信ステップを制御する制御ステップと、
を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 1 4】 入力した元画像に所定の変換処理を施し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理方法を実行するためのプログラムであって、所定の依頼元から前記元画像の変換処理要求を受け付ける受付ステップと、

受け付けた前記変換処理要求、及び前記変換処理要求に基づき前記元画像を変換した変換結果画像が、記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定ステップと、

前記変換ステップにおいて前記元画像の変換結果を前記所定の依頼元に対して通知する通知ステップと、

前記判定ステップにおいて、前記変換処理要求及び前記変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定された場合、前記変換ステップは前記元画像に対する変換を行わず、前記通知ステップは、前記所定の依頼元に対して前記元画像に対する変換を行ったことを通知することを特徴とするプログラム。

【請求項 15】 入力した元画像に所定の変換処理を施し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理方法を実行するためのプログラムであって、前記変換結果画像を記憶手段に記憶する第1の記憶ステップと、

入力した元画像に対応する変換結果画像が前記記憶手段に記憶されている場合、前記元画像に対する変換処理を行わず、前記対応する変換結果画像を出力する出力制御ステップと、

前記記憶手段に記憶された各変換結果画像が、前記出力制御ステップにおける画像出力のために用いられた参照回数を、前記記憶手段に記憶する第2の記憶ステップと、

前記参照回数に基づき、前記第1の記憶ステップにおける変換結果画像の書き込み及び削除を制御する記憶制御ステップと、
を有することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明の画像処理装置は、入力した元画像に所定の変換処理を行う変換手段を有し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理装置であって、前記変換結果画像を記憶する第1の記憶手段と、入力した元画像に対する変換結果画像が前記第1の記憶手段に記憶されている場合、前記元画像に対する変換処理を行わず、前記対応する変換結果画像を出力する出力制御手段と、前記第1の記憶手段に記憶された各変換結果画像が、前記出力制御手段による画像出力のために用いられた参照回数を記憶する第2の記憶手段と、前記参照回数に基づき、前記第1の記憶手段における変換結果画像の書き込み及び削除を制御する記憶制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明の画像処理方法は、入力した元画像に所定の変換処理を施し、前記変換処理した変換結果画像を出力する画像処理方法であって、所定の依頼元から前記元画像の変換処理要求を受け付ける受付工程と、受け付けた前記変換処理要求、及び前記変換処理要求に基づき前記元画像を変換した変換結果画像が、記憶手段に記憶されているか否かを判定する判定工程と、前記変換処理において前記元画像の変換結果を前記所定の依頼元に対して通知する通知工程と、前記判定工程において、前記変換処理要求及び前記変換結果画像が前記記憶手段に記憶されていると判定された場合、前記変換処理は前記元画像に対する変換を行わず、前記通知工程は、前記所定の依頼元に対して前記元画像に対する変換を行ったことを通知することを特徴とする。